

□青森県防災ホームページについて

青森県総務部消防防災課 防災企画班長 松野安弘

1. 青森県総合防災情報システムの誕生

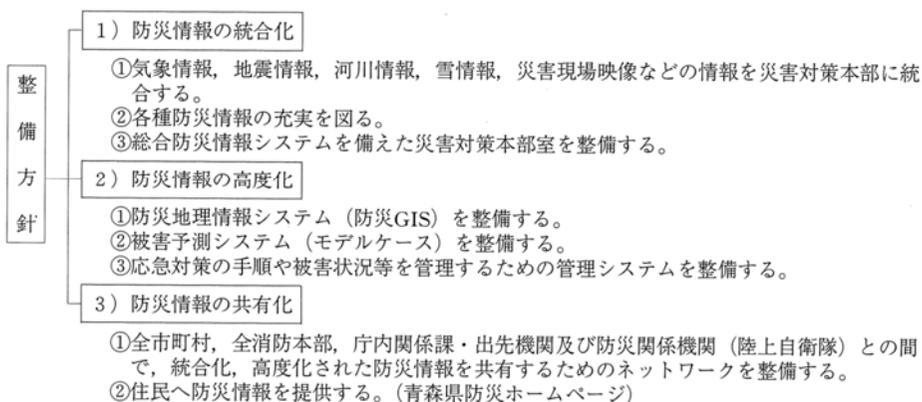
青森県では、これまで十勝沖地震、日本海中部地震、三陸はるか沖地震といった大規模な地震が繰り返し発生しているほか、平成3年の台風19号、大雨、豪雪など自然の猛威が県民の生命や財産を脅かしてきました。

三方を海に囲まれた本県においては、今後も大地震や津波に備えることはもとより、自然・社会環境の変化を踏まえて、あらゆる

災害に対応していくことが求められています。

このような状況のもと、本県では、迅速かつ的確な災害対策を支援するため、防災情報の「統合化」、「高度化」、「共有化」を整備方針とし、中枢機能として防災地理情報システム(防災GIS)等を導入した「青森県総合防災情報システム」を構築し、平成12年9月に運用を開始しました。

青森県総合防災情報システム整備方針





総合防災情報システムの機能を備えた
災害対策本部室

2. 青森県防災ホームページ

3つの整備方針のうち「防災情報の共有化」では、統合化、高度化した防災情報を県、市町村、消防本部、陸上自衛隊で共有するためのネットワークを実現したほか、県民への情報提供のため、「青森県防災ホームページ」を設けました。

本ホームページは、県民に平常時から防災に関心をもっていただくための情報を常時掲載しているほか、災害時には被害状況や避難所の設置状況などを掲載して、適切な行動をとるのに役立ててもらっています。

ホームページのメニューの中から主なものをいくつか紹介してみたいと思います。

3. 観測情報

「観測情報」として、気象観測情報、地震観測結果等を掲載しています。

気象観測情報では、日本気象協会から提供される警報・注意報、天気予報、天気図、ひまわりやアメダスといったおなじみの情報や気象庁短時間降水予測、青森県超短時間降水予測、気象庁レーダー・エコー強度などを閲覧することができます。

また、地震観測結果では、県と弘前大学が観測している微小地震観測データと岩木山地震観測データを集約・解析したものを掲載しています。

このほか、本県の環境放射線等テレメータシステムから提供される原子力関連施設周辺の環境放射線情報や河川砂防情報システムから提供される河川の水位情報等も入手することができます。

青森県防災ホームページ

最終更新日2001/04/06

観測情報の各画面は最新に更新して下さい。

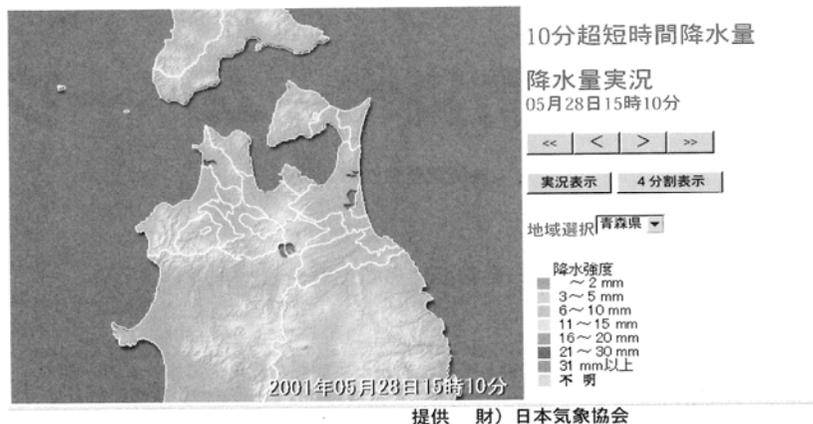
県民の皆様に、防災に対して関心を持っていただくためのホームページです。気象情報など平常時も参考になる防災情報や過去の災害情報などが満載です。

- [災害情報](#)
- [トピックス](#)
- [地震総覧](#)
- [観測情報](#)
- [イベント情報](#)
- [主な災害履歴](#)
- [防災マップ](#) (避難場所・主要医療機関)
- [青森県地域防災計画](#) (風水害等編・地震編)
- [リンク](#)
- [関係機関連絡先](#)
- [青森県総合防災情報システムの概要](#)
- [災害時の心得](#)
- [消防団員募集のお知らせ](#)



青森県総務部消防防災課

超短時間降水予測



4. 防災マップ

前述したように、青森県総合防災情報システムでは、県と市町村、消防本部間で、被害や避難の状況など、災害対策に必要な情報を地図を使って相互連絡するために、防災GISを導入しており、個々の建物や道路、各種防災関連施設等の位置が判別できる、縮尺1/2500の地図等を基本図として活用しています。

本ホームページの「防災マップ」は、防災GISの基本図から地域住民に密接に関わる避難場所(施設)や主要医療機関を全県的に取り出し、WEB専用の防災マップとして有効活用しているものです。

5. 災害時の心得

災害時に被害の軽減を図るためには、県、市町村等防災関係機関の対策の強化も重要ですが、県民個人個人が、日頃から防災に対する意識をもって、必要な備えをすることも大切です。

そこで、本ホームページでは「災害時の心得」を掲載して、防災意識の高揚を図っています。

「災害時の心得」では、台風や地震への日頃の備えや注意事項等を掲載しているほか、山菜採りの時や冬山での遭難事故の発生概要や遭難防止の心得を載せて、注意を喚起しています。

6. 地震総覧・主な災害履歴

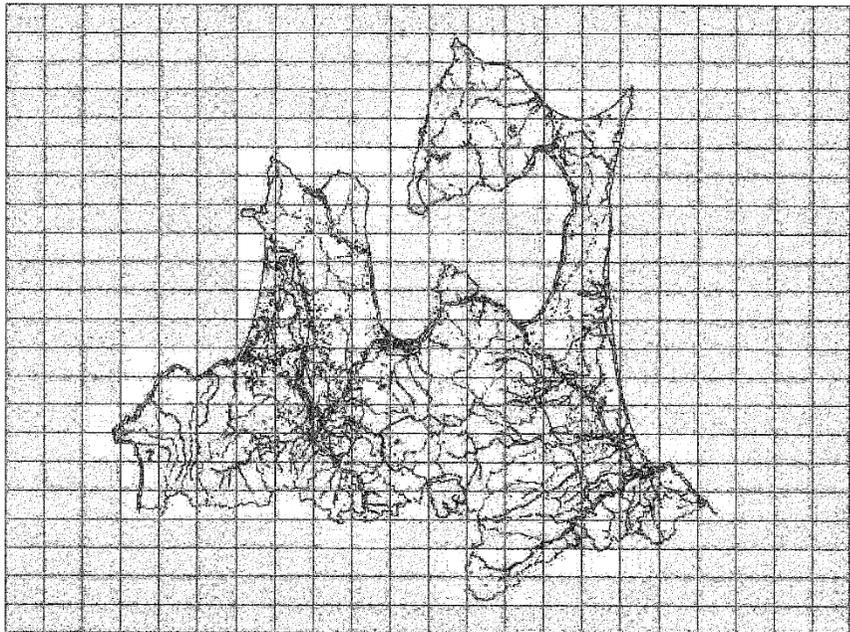
「地震総覧」は、本県に影響を及ぼした地震の情報等を弘前大学の協力を得て収集・整理し、データベース化したものです。

西暦1300年当時から現在に至るまでの地震の内容や参考文献を掲載しており、特に、近年、大きな被害をもたらした十勝沖地震、日本海中部地震、三陸はるか沖地震については、詳細な被害状況のデータや写真、当時の新聞記事等を掲載し、より充実した内容となっています。

このほか「主な災害履歴」では、地震のほ

防災マップ

白色部分をクリックすると、該当する地図が表示されます。



か大雨, 暴風, 豪雪, 林野火災等による被害概要を載せています。

7. 旬の話題の提供

以上のような常時掲載しているメニューのほか, 防災に関する講演会のお知らせといったイベント情報や県地域防災計画の修正概要, 消防団員の募集など, その時々の情報, 話題も提供しています。

また, 本書で紹介した青森県総合防災情報システムの概要についても掲載しています。

1. 日ごろの備えをしっかりとしましょう

1. 家庭では

① 家の中や外で強風に弱いところを補強しておきましょう。

屋根、塀、窓、テレビアンテナ、看板など

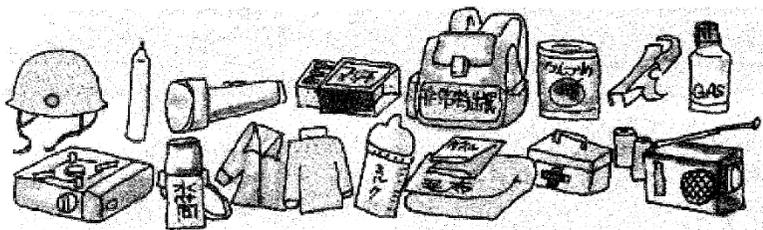
② 非常用品等を備えておき、時々点検しましょう。

また、万一の避難に備え、常用持ち出し袋に必要なものを入れておきましょう。

主な非常用品	・身の安全を守るためにヘルメット、防災ずきん
	・停電に備えて懐中電灯、ろうそく、ライター、マッチ
	・非常食品ー乾パン、缶詰、食塩、缶切り
	・非常飲料水ー水筒、瓶詰めミネラルウォーター
その他日常必需品	・非常燃料ーコンロ、固形燃料
	・救急医薬品
	・衣類、タオル、毛布、赤ちゃんのミルクなど

③ 電池式ラジオと予備電池を用意しておきましょう。

ラジオは停電時の情報収集に有効です。また、普段からラジオにも親しむことも必要でしょう。



④ わが家の防災会議を開きましょう。

いざというとき、家族それぞれがどういう行動をとったらいいか、また、家族がばらばらになっているときどこで会うかなどを日ごろからよく話し合っておく必要があります。

⑤ 防災訓練に参加しましょう。

各市町村等が行う防災訓練に積極的に参加し、いざというときの行動を何度も体験しておきましょう。

地震総覧総合メニュー

防災の参考とするため、平成10年に、本県に影響を及ぼした地震の情報等を弘前大学の協力を得て収集・整理し、データベース化したものです。

- 一般地震
- 十勝沖地震（昭和43年）
- 日本海中部地震（昭和58年）
- 三陸はるか沖地震（平成6年）

8. 今後の課題等

本ホームページの主なメニューについて紹介してきましたが、今後の運営にあたっては、いくつかの課題も存在します。

まず、災害時にいかに迅速かつ的確に、県民に対して必要な情報を提供するかという点です。幸い、ホームページ開設後、本県では大きな災害が発生していませんが、いざという時に混乱が予想される中で円滑な情報提供ができる体制づくりと技術の研鑽が欠かせません。

また、インターネットの普及によって、ホ

ームページの数は膨大なものとなっており、日々その数は増えています。ともすれば個々のホームページが情報の大海の中に埋もれてしまう状況の中で、「青森県防災ホームページ」にアクセスしてもらうためには、ホームページのPRなど見てもらうための様々な工夫が求められてきます。

今後も、内容の充実に努めて参りたいと考えていますので、読者の皆様にも一度ご覧いただければと思います。

URLは、

<http://www.bonsai.pref.aomori.jp>

となっております。